

◆「市民との対話の場の充実」の検討における論点

<参加者>

- ① 参加者の固定化、減少傾向が進む中、議会に対する関心を高め、幅広い年代から参加をいただくための有効な方策はあるか。地域へこちらから出向く方式、複数個所での分散開催等は考えられないか。

<テーマ>

- ② 市民の関心が高いテーマ設定が必要。一方的な議会側からのテーマ設定ではなく、市民からテーマの公募はできないか。

<議員の意見について>

- ③ 議会としての意見ではなく、一個人議員としての発言を認めることはできないか。

<開催方式>

- ④ 下記のような方式への変更は考えられないか。

[ワークショップ方式]…学びや創造、問題解決やトレーニングの手法。参加者が自発的に作業や発言を行える環境が整った場において、司会進行役を中心に、参加者全員が体験するものとして運営される形態がポピュラーとなっている。

[ワールドカフェ方式]…何人かで討論を行うもの。与えられたテーマについて各テーブルで議論し、次にテーブルホスト以外は他のテーブルへ移動し、そこのホストから前の議論の概要を聞いて議論を深め、これを何回か繰り返した後に、各テーブルホストがまとめの報告を全員にする。

[シアター方式]…座席が全て舞台の方向を向いているレイアウトで、テーブルを置かず椅子のみを並べることで、より多くの人数を動員することができる。

- ⑤ テーマ設定とも関わってくるが、テーマに沿った地域へ出向いての開催は考えられないか。
- ⑥ 各地域とオンラインで繋ぐことで、出向かずとも中山間地域等、幅広く多様な意見交換ができるのではないか。
- ⑦ テーマに沿った、参加者の適切なグルーピングが必要では。
- ⑧ 年1回ではなく複数回の開催、また複数会場での開催は可能か。
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症が収束していない中での開催方式の検討が必要。

<開催場所>

- ⑩ 令和3年度は例年どおり、5月に第二庁舎10階講堂と会議室を複数日仮予約済み。
- ⑪ 市民交流スペースは芸術館でイベントがある場合は使用できない。
- ⑫ 本庁舎以外で開催可能な（開催場所にふさわしい）会場はあるか。

<その他>

- ⑬ 意見交換会で市民から出された意見・要望をどのように議会（議員）活動に反映していくか。